

特定非営利活動法人 フリースペースたまりば 2017年度事業報告書
(2017年4月1日～2018年3月31日)

1. 事業の成果

学校や家庭・地域の中に居場所を見出せない子どもや若者及びその保護者とともに、一人ひとりが安心して過ごせる居場所をつくり、学校外での多様な学びや育ち・生き方を支援し、自己肯定感を取り戻す人間関係を育む環境と文化を創造することを目的として、活動を行なった。

近年、生活困窮者自立支援法が制定され、各自治体で生活困窮者自立促進事業（生活困窮者自立相談支援、就労支援、学習支援等）が開始され、就労、就学、住まい等のあらゆる問題において、地域での連携とともに自治体を横断した支援が必要となっている。そこで、「一般社団法人インクルージョンネットかながわ」等とともに幹事団体として、神奈川県保健福祉局福祉部生活援護課との協働による「生活困窮者の自立支援ネットワークの形成」事業を2017年4月から開始した。

また、本年度は、指定管理第3期の2年目の指定管理者として、川崎市子ども夢パーク及びフリースペースえんの運営を行なった。また、川崎市健康福祉局生活保護・自立支援室より委託を受け、川崎若者就労自立支援センター「ブリュッケ」を運営し、生保受給世帯等の15歳～29歳で社会的ひきこもり状態にある若者を対象として、「居場所」の提供と社会的自立に向けた「就労支援」を行なった。同じく、川崎市健康福祉局生活保護・自立支援室より委託を受け、川崎市学習支援・居場所づくり事業「よつばの会」を開催し、高津区内の生活保護家庭の中学生に対する無料学習支援・居場所づくりも行なった。さらに川崎市こども未来局児童家庭支援・虐待対策室より委託を受け、「ふれあい心の友」事業を川崎市内の児童相談所内で行なった。

2. 事業内容

居場所（活動拠点）・事業

A) 川崎市子ども夢パーク	}	指定管理施設	指定管理料（分担金）：45,225,000円
B) フリースペースえん			
C) 川崎若者就労自立支援センター「ブリュッケ」（川崎市生活保護受給世帯等若者就労自立支援事業）			委託費：25,500,000円
D) 「よつばの会」（川崎市学習支援居場所づくり事業）			委託費：3,727,425円
E) 「ふれあい心の友」（川崎市ひきこもり等児童福祉対策事業）			委託費：6,089,221円
F) かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク [川崎事務局] (かながわボランティア活動推進基金21 協働事業)			補助金：1,806,288円

(1) 誰もが安心して過ごせる居場所の開設と運営

< A) 川崎市子ども夢パークの管理・運営 >

・内容：(公財)川崎市生涯学習財団と「川崎市子ども夢パーク共同運営事業体」を結成し、指定管理者として川崎市子ども夢パーク（以下 夢パーク）の管理・運營業務を行ない、理事長 西野博之 が夢パーク所長を務めた。また、フリースペースえんチーム及びプレーパークチームより副所長（友兼大輔）を選出し、生涯学習財団の非常勤職員である副所長（高山幸治氏）とともに、副所長二人体制でより安全な開設を心がけた。

夢パークは、「川崎市子どもの権利に関する条例」の具現化を図ることを目的として川崎市によって設置され、子どもの活動拠点、プレーパーク、不登校支援、乳幼児・子育て支援、多文化共生、世代間交流等、多機能が備わった子どもたちの総合的な居場所である。これらの実現を目指して、以下の3つを事業の柱として、管理・運営を行なった。

<夢パークの3本柱>

- 「子どもの活動拠点」…子どもが自由に安心して集い、自主的及び自発的に活動する拠点
- 「プレーパーク」…土や水、火や木材などの自然の素材や道具や工具を使い、子どもたちの遊び心によって自由につくりかえられる遊び場
- 「フリースペースえん」…主に学校の中に居場所を見出せない子どもや若者たちが、学校外で多様に育ち・学ぶ場

<子どもが自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける居場所>

夢パークでは「子どもが自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける居場所」であることを目指して整備してきた。子どものいのちを真ん中におき、一人ひとりの自己肯定感を育む環境づくりに力を入れている。子どもが安心して、ありのままの自分でいられることを尊重し、自分の中から湧き出る「やってみよう」を大切にしたいと考えている。そして、できるだけ禁止事項をつくらず、子どもの発想で自由に遊び、自分の力の限界に挑戦し、それができたときの達成感を通して自信を育むとともに、安心して失敗できる環境づくりに力を注いだ。ここでは子どもの「参加」を大切にし、運営や遊具の製作・設置・撤去、イベントの開催などに子どもの意見を聴き、子どもたちが自主的・自発的に活動する拠点づくりをめざした。

- 使いながらつくり続けていく場
- 子どもの自由な遊び、活動がどんどんふくらむ場
- 子どもが自由に安心して居られる場
- 学校以外での育ち、学ぶ場
- 川崎市の子どもネットワークの拠点となる場
- 子どもたちが自分たちで動かしていく場

・開設日時（夢パーク）

2017年4月1日～2018年3月31日

通年（毎月第3火曜日の施設点検日、臨時施設点検日、年末年始を除く） 9:00～21:00

・場所：神奈川県川崎市高津区下作延 5-30-1 川崎市子ども夢パーク

・総利用者数：87,290人

< B) 不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」の運営 >

・内容：川崎市子ども夢パーク内において、学校や家庭・地域の中に居場所を見出せない子どもや若者が安心して過ごせる居場所づくりを行なった。

○ 自分で決めるプログラム

決められたカリキュラムはなく、子どもたち一人ひとりが、自分でその日をどのように過ごすかプログラムづくりを決定し一日の活動を行なった。“この指とまれ”方式で、自主企画をたて、仲間を集めて一緒に活動した。

○ 昼食づくり

毎日、その日に食べる人が献立を決め、買い物、調理、配膳など自分のできるところや得意なところを担当しながらスタッフと子どもたちが協力して、30人～40人分の昼食づくりを行なった。（1食250円）

- ・開設日時（フリースペースえん）
2017年4月5日～2018年3月16日
月曜日～金曜日 10：30～18：00 祝日は休み（ただし、火曜日は10：30～14：00）
開設日：192日
特別活動日：35日（自然野外体験、合宿、イベントなど <別紙参照>）
- ・場所：神奈川県川崎市高津区下作延 5-30-1 川崎市子ども夢パーク内
- ・対象者：登録制
登録者（2018.3.31 現在）

	男	女	計
小学生	21	14	35
中学生	25	15	40
高校生年齢	15	10	25
18才以上	30	13	43
計	91	52	143

< C) 川崎若者就労自立支援センター「ブリュッケ」の開設・運営 >

- ・内容：川崎市内で生活保護受給世帯等の15歳～29歳で、社会的ひきこもり状態にあつて就学・就労が難しく、自立に向けて困難な状況にある若者たちに対し、個別のニーズに合わせて「居場所による支援」及び「アウトリーチによる支援」を行なった。
- ・開設日時
2017年4月1日～2018年3月31日
月曜日～金曜日 9：30～18：00 （居場所の開設：月・水・金曜日 10：30～17：00）
【開設時間例】
月・水・金曜日：AM フリータイム、居場所利用者 朝のミーティング
昼食づくり（「おいしい・うれしい・たのしい」をみんなで!）
PM グループワーク、フリータイム
火曜日：予約制の生活・就労相談日
木曜日：ケースカンファレンス、連携・調整会議等
- ・場所：神奈川県川崎市高津区内
- ・対象者：登録制

年間登録者数 49名（2018.3.31 現在）

支援類型別相談支援者内訳	人数
居場所支援	16
アウトリーチ支援	14
CW へのコンサルテーション、スーパービジョン （相談援助・定着支援・関係機関との連携ケース等）	19

※就労支援（ボランティア活動を含む）：22名（うち居場所支援：8名、アウトリーチ支援14名）

< D) 「よつばの会」の開催 >

- ・内容：高津区内の生活保護世帯の中学生に対して、学習支援・居場所づくりを行なった。個別の理解度や苦手分野に合わせた個別学習を中心に行ない、学習以外にもサポーターや来ているメンバー同士の交流会を開いた。夏期や高校入試直前には、希望者に対し集中講座・無料の模擬試験を実施した。
- ・開設日時
2017年4月1日～2018年3月31日
週2日（月曜日・木曜日）18：30～20：30 祝日は休み
開催回数：96回（夏期や高校入試前の集中講座を含む）
- ・開設場所：川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
- ・対象者：登録制

登録者（2018.3.31 現在）

	男	女	計
1年生	2	1	3
2年生	2	1	3
3年生	6	1	7
計	10	3	13

※ 高校進学後も、いつでも相談に来れるように受け入れ態勢を整えた。

< E) 「ふれあい心の友」事業の実施 >

- ・内容：川崎市内の児童相談所と関わりのある不登校・ひきこもり傾向にある児童・生徒が、主に大学生が登録している「ふれあい心の友」と児童相談所内で交流し、自主性や社会性の伸長を図ることを目的としている。この事業のうち、フリースペースたまりばは、ふれあい心の友登録者と対象となる児童・生徒が一对一で学習をしたり話をしたりする個別活動支援のうち、「ふれあい心の友」の募集・研修・派遣を担当した。また、児童相談所に通ってくる複数名の児童・生徒と一緒にゲームをしたり料理をしたりする集団活動支援のうち、活動内容の企画立案・準備・運営を担当した。
- ・実施日時
2017年4月1日～2018年3月31日
実施回数：個別活動支援 278回
 集団活動支援 27回
 研修 10回
- ・場所：川崎市こども家庭センター、川崎市中部児童相談所、川崎市北部児童相談所
- ・対象者：川崎市児童相談所と関わりのある18歳未満の児童・生徒

2017年度利用者数（延べ人数）

	こども家庭センター	中部児童相談所	北部児童相談所	計
個別活動支援	76	53	149	278
集団活動支援	59	17	22	98

(2)不登校・引きこもりなどで悩む本人や家族等の相談・援助活動

①来所・電話相談

- ・内容：不登校、ひきこもり、非行、いじめ、生活上の問題等で悩む本人や家族等の電話相談、事前予約による来所相談を行なった。また「ブリュッケ」では、川崎市内の福祉事務所職員（CW）との連携を重視し、複合的な課題を持つ家族への対応に悩むCWの相談やスーパーバイズなど、「CWへの支援」も積極的に行なった。（無料）
- ・相談受付時間：（えん）月曜日～金曜日 9：00～18：30（祝日は休み）
（ブリュッケ）月曜日～金曜日 9：30～18：00（祝日は休み）
- ・相談場所：フリースペースえん、ブリュッケ（登録制） 他

②出張・連携相談

- ・内容：「ふれあい心の友」事業では、ふれあい心の友に登録している学生を児童相談所内に派遣し、不登校・ひきこもり傾向にある児童・生徒の相談・援助活動を行なった。また「ブリュッケ」では、福祉事務所までなら来所できる若者に対し、福祉事務所内等で出張相談を行なった。
- ・相談時間：児童相談所や福祉事務所と調整
- ・相談場所：児童相談所（登録制）、福祉事務所（登録制） 他

③本人や保護者の相談

○20才以上の若者たちの会を開催

- ・内容：20才以上の人たちが、食べたり飲んだりしながら語り合う会「えん会」を開催した。
- ・日時：毎奇数月
- ・場所：オーガニックカフェ「たまりばーる」 他
- ・対象者：20才以上の若者（フリースペースたまりば会員）（延べ38人参加）

○保護者とスタッフの語り合う会

- ・内容：保護者との関わりを大事にするために、また保護者同士がつながってお互いに話ができる様にその時々保護者の困りごとや子どもの様子などを話しあう保護者会を開催した。
- ・日時：毎偶数月
- ・場所：フリースペースえん
- ・対象者：フリースペースえんに登録している子どもの保護者（延べ134人参加）

(3)フリースペースの利用者による自主企画・活動の支援

< B) フリースペースえん >

①ミーティング

- ・内容：安心して過ごせる居場所を自分たちの力で整えていくために、誰もが言いたいことを言える環境づくりに力を注いだ。
- お茶会ミーティング（毎月1回） ○ショートミーティング（毎週月曜日） ○その他（随時）

②自然体験合宿

- ・内容：豊かな自然の中で寝食を共にし、子どもたちがプログラムやルールを自分たちで決めながら様々な活動を行なう合宿を年3回開催した。
- 八丈島キャンプ
 - ・日時：2017年7月22日（土）～7月27日（木） 5泊6日
 - ・場所：八丈島底土キャンプ場
 - ・参加人数：34名

○霧ヶ峰の草原を歩こう

- ・日時：2017年9月12日（火）～9月13日（水） 1泊2日
- ・場所：霧ヶ峰（長野県）
- ・参加人数：23名

○玉原スキー合宿

- ・日時：2018年1月21日（日）～1月23日（火） 2泊3日
- ・場所：たんばらスキーパーク（群馬県）
- ・参加人数：33名

③たまりばフェスティバル 「祭りだ！ワッショイ！！たまりばフェスティバル2017」

- ・内容：講座や自主企画など一年間を通して行なってきた活動の発表の場として、フェスティバルを開催。子どもたちが立ちあげる「プロジェクト X（フェスティバル実行委員会）」が中心となって仲間を集め、広報、プログラム・パンフレットづくり、当日の司会やその他の企画・運営を行ない、イベント全体を作りあげた。当日は、歌、ダンス、創作劇、楽器演奏、ビデオ上映、カフェ、作品展示等を行なった。
- ・日時：2018年2月25日（日）14：00～17：30（開場13：30）
- ・場所：川崎市男女共同参画センター すくらむ21
- ・参加人数：435名

④自主企画「この指とまれ」（講座・自然観察・野外体験・イベント等）

- ・内容：講座や企画は子どもたちが「こんなことやりたい！」という思いをミーティング等で呼びかけし、仲間を募って実現していった。＜詳細は別表1参照＞

○連続講座 14講座

月1回程度、ものづくりや民族音楽（南米・アフリカ）やダンス、演劇、歌、アートなどの表現講座、お菓子づくりやイタリアンパスタ講座などを開催した。

○単発企画 34回

ミーティングなどで子どもたちが提案し、主体的な話し合いによって決定した自主企画や各種イベント等に参加した。

⑤個別学習支援および進路相談

- ・内容：さまざまな発達段階にある児童・生徒に対する個別またはグループでの学習支援および進路相談を行なった。また今年度は、集中して勉強する時間と場所を確保してほしいと希望する中学3年生がおり、受験前には学生ボランティアと集中して勉強し、高校進学を希望する者は全員、高校に進学した。
- ・日時：随時
- ・場所：フリースペースえん、川崎市子ども夢パーク内「多目的室」

< C) ブリュック >

①居場所支援

本事業では、就学・就労が難しく、「社会的ひきこもり」状況にある若者たちに対し、家族以外の人と出会い・触れ合うことのできる「居場所」を開設し、その運営を行った。ひきこもり状態の若者たちが、居場所で「人」と出会い・つながり、つながった仲間と「体験」を積み、少しずつ居場所の外に出て「地域」とつながっていき、その先の就労を含めた自分の生き方を見つけていく。そのような支援が、地域の中で継続的に展開できるよう環境を整備し、きめ細やかな寄り添い型の支援を実施した。

○ミーティング

開設日午前中には、その日来所したメンバーが集まり、一人一人の「その日の体調」や「最近困っていること」、「今日、みんなで話をしたいこと」などを語り・聴き合う「ミーティング」を実施した。

○共食タイム

居場所開設日には、毎日スタッフと若者で協力し、調理、配膳（準備）、食事、片付けまでを行う「共食タイム」を実施した。生活保護家庭でひきこもっていた若者の中には、安定した生活習慣が身についておらずに「小さい頃から一日一食」という者も多く、栄養バランスも偏っている傾向がある。共食タイムでは、「ご飯・汁物・野菜・おかず」というバランス重視のメニューを心がけ、食からメンバーを支える「食育」に力を入れ、「暮らし」モデルの再構築に取り組んだ。

○グループワーク

居場所開設日の午後には、多様なプログラムを若者とスタッフで一緒に行う「グループワーク」を実施した。プログラムについては、毎月若者とスタッフとで企画会議を開催し、若者たちの興味・関心のあることを企画化し、一カ月の予定を作成した。＜詳細は別表2参照＞

○フリータイム

「ミーティング」「共食タイム」「グループワーク」以外は、利用者それぞれが過ごしたいように過ごすことができる「フリータイム」を実施した。（スタッフや利用者同士で話したり、作業をしたり、パソコンやゲームをしたり、読書をしたり、外でキャッチボールをしたり、スタッフと買い物に行ったりなど）

○個別相談

若者たちは、必要に応じてスタッフと個別面接を行ない、本人が抱えている「悩み」や「不安」について相談した。若者たちの中には、「家族問題」や「失敗体験」などが原因で動けなくなっていた者も少なくない。本人だけでは抱えきれなくなっている状況を脱するためにも、安心して話せるスタッフに「不安」を語り、背負っているものを降ろしていく中で課題整理を行っていた。

②アウトリーチ支援

「電車など乗り物にのれない」「集団の中は緊張して居られない」「他人とコミュニケーションを取るのが難しい」などの問題はあるが、福祉事務所までなら来所でき、CWとやり取りできる若者に対し、福祉事務所での定期的な面接や、外で散歩したり、図書館に行ったりなど、ゆるやかな人間関係を構築するところからアプローチするひきこもり状態にある若者を居場所に繋ぐアウトリーチ支援を実施した。

③就労支援

○就労支援の基本

ブリュッケの就労支援には、『居場所での成長を通して、自立・就労に繋げる』・『アウトリーチ支援により、自立・就労に繋げる』の2つのタイプがあり、どちらの支援も「就労支援を通じて、企業・地域とつながり～企業・地域と連携して、就労自立をサポートする」という視点を重視し行なった。若者が本来持っている能力を引き出すこと、自主性を尊重することを基本に、個別のニーズに応じたオーダーメイドのプログラムを作成し、寄り添い型の支援・「人と人を繋ぐ」支援を実施した。

○居場所から就労をめざす若者への支援の取り組み

居場所に通う若者には、居場所での活動による本人の一步一步の歩みと自主性を尊重し、一人ひとりの状況に応じた段階的・的確な就労支援を行なった。

○アウトリーチによる若者への就労支援

アウトリーチで出会う就労希望の若者には、希望職種を選択、求人情報の収集、応募先の選定、履歴書・職務経歴書づくり、面接準備、就労、定着という就労支援の全過程を、働くことへの自覚をつくる過程と捉え、就労とともに社会の中で自立していく力をつける大切な期間として寄り添い型の支援を行なった。

正社員を希望する若者には、「職務経歴書づくり」は特別に重要であり、この作成過程を通じて自分の人生と向き合う機会とする。

また、「職場見学・職場体験」「お試し就労」など、就労に繋がる支援を定期的に行った。

その他、資格所得・職業訓練等、スキルアップに向けた支援も行った。若者の職業スキルや社会スキルを向上させるために、ハローワークの職業訓練や受入れ可能な企業・NPO と連携し、職場実習やスキルアップ訓練、各種資格取得に取り組んだ。

○地域の経営者との信頼関係を構築

～「哲学のある経営者」との連携～

ブリュッケを受託後、川崎北税務署「間税会」、神奈川県中小企業家同友会（以下「同友会」、川崎市商工会議所などの経営者団体及び地元の企業経営者・商店主との交流、連携を継続的に深めてきた。出会った経営者の中には、素晴らしい“経営理念”を掲げ、人材の育成にあたって、ダイバーシティ（性別、人種、障害、年齢、学歴、価値観などの多様性を受入れ、広く人材を活用することで企業改革、生産性の向上に役立てる）の考えを取り入れ、特に「同友会」に関しては、企業理念に「第1に、自社の存在意義を改めて問いなおすとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる企業。第2に、社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた豊かな人間集団としての企業」と謳い実践され、ブリュッケの若者を受け入れてくれている企業も生まれている。

④川崎市内福祉事務所の職員（ケースワーカー）への支援

市内9カ所の福祉事務所のケースワーカー（CW）がひきこもっている若者と家庭訪問時でも出会えず、福祉事務所でも対応に困っているケースの対策として、CW対象の個別面接やスーパーバイザー派遣など、「CWへの支援」を行った。

<「工房たまりば」の運営>

・内容：手づくりの藍染め製品を中心に、つながりのある地域作業所や関係団体の品物を展示・販売した。同じスペース内にオーガニックカフェ「たまりばーる」を設け、その運営は保護者でもある金山悦子氏が担った。

・開設日時：水～日曜日 10：30～21：00

・場所：神奈川県川崎市多摩区宿河原6-26-24 フジビル101

(4)保護者・教育関係者・学生・市民の学習と交流の機会及び情報の提供・発信活動

<広報・啓発活動>

①通信の発行

・内容：毎月のカレンダー、活動報告、お知らせ等を掲載した定期情報紙『楽えんだより かわら版』（毎月）と『たまりば通信』（年4回）や、一年間の活動の様子や会員の寄稿を掲載した冊子『楽えんだよりDX』（年1回）を制作、発行した。

②ホームページの開設と運営

- ・内容：活動の予定や報告などをホームページで公開し、たまりば会員だけではなく一般の人への広報の場とした。

URL <http://www.tamariba.org>

③フリースペース活動説明会

- ・内容：不登校・ひきこもりに関する理解を促進し、「フリースペースえん」や「川崎市子ども夢パーク」の活動をより身近に感じ、知ってもらうために「フリースペースって、どんなところ？」を開催した。
- ・日時：毎偶数月
- ・対象者：不登校児童・生徒の保護者、ひきこもりの当事者、支援機関、学校関係者、研究者、学生等
(延べ145人参加)

④講演活動および視察・見学等の受け入れ

- ・子どもや若者たちの学校外での多様な生き方や学び方への理解を深め、保護者はもとより、広く学生、市民、教育関係者などに対する啓発を目的として、小中高等学校・大学、市民館や教育関係機関などにおいて、講演活動を行なった。
- ・一年間を通して、各地から川崎市子ども夢パーク及びフリースペースえん等への視察・見学を190件受け入れた。今年度も諸外国（ドイツ、韓国、ネパール、中国、APDEC（アジア・太平洋フリースクール関係者））で子どもと関わる仕事をしている方々などの視察を受け入れた。

⑤講演会の開催

- 「子どもの遊びに関わる大人の養成基礎講座（プレイワーク入門）」の開催＜夢パーク自主企画事業＞
 - ・内容：「遊びとは何か」「脳・心・体の発達と遊びのつながり」など、“遊ぶことの意味”について、市内外のプレーリーダー、教員、行政職員、こども文化センター職員など子どもに関わるおとなや、研究者、学生、市民と考える講座『世界一子どもの笑顔が見られる仕事』を6回開催した。
 - ・講師：天野秀昭氏（NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会理事、一般社団法人プレイワーク協会理事）
 - ・会場：川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
 - ・参加人数：延べ87名
- 「李政美さんのお話とコンサート」を開催 ＜かわさき子どもの権利の日のつどい＞
 - ・内容：在日コリアン2世で歌手の李政美さんの話と歌を聴き、国や人権、文化などの「違い」や音楽に込められた「想い」などを知り、いのちと人権について考える会を開催した。
 - ・講師：李政美氏（歌手）
 - ・会場：フリースペースえん
 - ・参加人数：72名
- CW研修会の開催（フリースペースたまりばと市生活保護・自立支援室との共催）
 - ・内容：生活保護・自立支援室の要請を受け、生活保護ケースワークの知識とスキルを学ぶ研修会「ケースワーク再入門（原則を学ぶ）～アセスメント・面接スキルの向上をめざして」を年10回開催した。
 - ・講師：長谷川俊雄氏（白梅学園大学教授、社会福祉士）
西野博之（NPO 法人フリースペースたまりば理事長）
 - ・参加人数：延べ196名

<各種会議やネットワークへの参画・連携>

⑥神奈川県フリースクール・フリースペース NPO ネットワーク会議への参画

神奈川県内のフリースクール・フリースペースの NPO ネットワーク会議に委員として参画。
県民局青少年サポート課と連携して県内フリースクール・フリースペースのネットワークづくりをすすめた。

⑦神奈川県 学校・フリースクール等連携協議会（事務局：神奈川県教育委員会）への参加

神奈川県内で不登校児童・生徒のための居場所づくりをすすめるフリースクールやフリースペースと学校や教育関係機関との連携・協働を推進することを目的に発足した神奈川県学校・フリースクール等連携協議会の企画委員会委員として参加。不登校相談会・進路情報説明会などを行政と協力して開催した。

⑧川崎市不登校対策連携協議会（事務局：川崎市総合教育センター）への参加

学校、民間施設、児童相談所、精神保健福祉センター、県警少年相談・保護センター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが集まって、市内の不登校児童生徒の現状を把握し、支援のあり方を協議する川崎市不登校対策連携協議会に委員として参加。

⑨文部科学省「フリースクール等に関する検討会議」への参加

フリースクール等で学ぶ子どもたちの現状を踏まえて、学校外での学習の制度上の位置づけや、子どもたちへの支援策の在り方について検討するフリースクール等に関する検討会議に委員として参加。

⑩その他の行政等との協働および各種委員会等への参加

「高津区子ども・子育てネットワーク会議」委員長、「高津区要保護児童対策地域協議会」、「高津区生涯学習推進会議」、「川崎市発達障害者支援地域連絡調整会議（川崎市健康福祉局）」、「川崎市青少年教育施設専門部会（こども未来局青少年支援室）」、「川崎市社会福祉協議会第4期地域福祉活動推進計画策定委員会」などに委員として参加。その他「高津区ボランティア・当事者連絡会」へ参加。

⑪地域との連携およびイベント等の実行委員会への参加

下作延第一町内会意見交換会、雑居まつり実行委員会（世田谷）、神奈川県フリースクール・フリースペース・フェスタ実行委員会、かわさき子どもの権利の日事業部会。

⑫民間団体との連携

市民や企業から寄付を集め、県内の子ども・若者や子育てにかかわる NPO へ助成する仕組みづくりを行なう「認定 NPO 法人神奈川子ども未来ファンド」に、理事として参画。さらに、設立準備の段階から関わってきた「かわさきチャイルドライン」（子ども専用電話）の代表を務めた。（ともに理事長 西野）その他、フードバンクからの食料品や家庭用製品の提供を受けた（月2回）。

<研修・実習等の受け入れ>

フリースペースえん及び川崎市子ども夢パークにおいてボランティアや職員、学生等の体験研修・実習を受け入れた。（神奈川県公立学校教員・5年経験者社会体験研修、川崎市職員 NPO 法人体験研修、神奈川県青少年サポート課主催 学生ボランティア体験講座の受講生、東京慈恵会医科大学地域子育て支援体験実習、白梅学園大学子ども学部体験実習、横浜桐蔭大学サービスラーニング実習、早稲田大学文化構想学部 こども支援の实地学習、田園調布大学 SSW 実習、恵泉女学園大学 CSL 実習など）

<かながわ生活困窮者自立支援ネットワークへの参画 >

F) かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク（幹事団体及び川崎地域事務局）

- ・内容：川崎地域を中心に生活困窮者等の自立支援を行っている各団体の事業内容の把握や連携に向けた関係構築に努めるとともに、支援団体及び関係機関を訪問し、「かながわ生活応援サイト」（一般県民等が困りごとや地域ごとに相談先を検索できるポータルサイト）への協力及び登録を要請するなど、資源マップ作りに必要な団体調査活動を行った。「かながわ生活応援サイト」は平成30年5月公表予定で、当初掲載団体・機関は約80件。
- ・運営体制：【全体事務局】一般社団法人インクルージョンネットかながわ
【川崎地域事務局】特定非営利活動法人フリースペースたまりば
【県西・県央地域事務局】特定非営利活動法人子どもと生活文化協会

ネットワーク会議及び研修の開催

○「生活困窮者自立支援ネットワークの形成に向けて」<全体事務局企画>

- ・講師：本後健氏（厚生労働省社会・援護局 生活困窮者自立支援室室長）
鈴木晶子氏（かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク）
- ・会場：公益社団法人全日本不動産協会会議室
- ・参加人数：124名

○「子どもの貧困の現状からネットワークを考える」（後援：川崎市）<川崎地域事務局>

- ・講師：加藤彰彦氏（沖縄大学名誉教授）
- ・会場：川崎市産業振興会館
- ・参加人数：95名

○「日本の貧困の現状を考える～分かち合える地域社会を目指して」（後援：小田原市）

<県西・県央地域事務局>

- ・講師：井手英策氏（慶應義塾大学経済学部教授）
- ・会場：県小田原合同庁舎
- ・参加人数：95名

【別表1】

<フリースペースえん>

連続講座

講座名	実施回数	講師	内容
平センとものづくり ～作って遊ぼう～	月1回	平林浩	たたきごまやひもぞうりなど、伝承おもちゃや昔ながらの手工芸を科学の眼をもちながら、自分で作って自分で遊んでみた。
演劇講座	月1回	片岡五郎	発声練習や呼吸法・体構えなど体の使い方を学んだり、殺陣師から立ち回りなど殺陣を学んだりして、演技の基礎を身につけた。
ジャンベを たたこう	月1回	B.B.モフラン	西アフリカの太鼓・ジャンベを楽譜を使わずにリズムワークショップを行なった。
folkloreを演 奏しよう	月1回	TOYO 草薙	アンデス地方の民族楽器(チャランゴ・ケーナ・サンポーニャ・ボンボ)を皆で合わせて演奏した。
ケーナ講座	月1回	長岡竜介	南米のたて笛・ケーナで南米の曲から日本の曲など演奏して、ケーナの楽しさを知ると同時に、楽譜の見方なども学んだ。
ジャズダンス	月1回	西崎小恵子	柔軟などのウォーミングアップから色んなジャンルの音楽に合わせてジャズダンスを踊り、身体全体で表現する楽しさを知った。
ボイス トレーニング	月1回	西崎小恵子	発声練習・リズム練習を行なう中で、自分の音域を知ったり、姿勢で声の出方が変わることを体感しながら、歌いたい曲を歌った。
アート	月1回	有北いく子	絵を描いたり、洗濯のりを使ったスノードーム作りやパステルを使ったカード・カレンダーなどを作りを行なった。
アッコのパクパク パクン	月1回	堤彰子	パンや小麦粉中心のおやつを生地から練って、作った。作って食べるだけではなく、食の空間を知り、感じる時間とした。
イタリアン パスタ講座	月1回	小林英紀	ホワイトソース・トマトソースの作り方を基礎から学んだり、包丁の持ち方など教わったり、料理の楽しさを知った。
歌講座	月1回	桜井純恵	姿勢や腹筋の使い方、口の形等の基礎から、譜面の読み取り方、表現方法を学び、様々な曲を合唱した。
染めもの講座	月1回	松田菊代	自分たちで育てた藍の葉で生葉染めや藍建てを行ない、藍染めや草木染めなどを行なった。
青空美容室	年7回	尾松陽太	実際に髪の毛を切ってもらったり、アレンジをしてもらったりしながら、プロの技に出会った。
ともに生きる	年6回	開発教育協会(DEAR)	外国にルーツがあったり、居住していたりするゲストを迎え、情報として外国を知るのではなく、人となりを知ることから世界に出会う時間とした。また引き続き、憲法についても学んだ。

単発企画 (2017年度 実施・参加したもの)

実施時期	企画
4月19日	松崎運之助さんといろんな人が共にくらす街と出会う <講座>
4月21日	松崎運之助さんといろんな人が共にくらす街(鶴見)を歩こう <フィールドワーク>
4月26日	たまりばシアター
5月12日	たまりばシアター
5月24日	ドイツからこんにちは! (ドイツの視察団と国際交流をしよう)
6月14日	たまりばシアター
6月24日	2016年度えん活動報告会

7月12日	お外でモフランとジャンベとコンゴのおやつ（ウガリ、ミカテ）を食べよう！
7月13日	救命救急講座～AEDをつかってみよう～
7月17日	夢まつり 2017 祝 14周年&来場者 100万人突破！ <出店>
8月4日	APDEC（アジア・太平洋フリースクール大会）訪問 アジア太平洋地域のフリースクールのスタッフや若者と国際交流をしよう♪
8月8日	夢パークで福島の子どもたちと一緒に流しそうめんをしよう
8月13日	夢パーク：おんがくしゅうかい <演奏>
8月23日	たまりばシアター
8月27日	高津区子どもフェア！！手作りダンボール舟にのってレースをしよう！
9月5日	防災訓練
9月9日	フリースクール・フリースペース・フェスティバル<フォルクローレ演奏、出店> （神奈川県立青少年センター）
10月8日	雑居まつり<出店>（世田谷羽根木公園）
10月21日	白梅学園大学大学祭<フォルクローレ演奏>（小平市）
11月5日	夢パーク こどもの権利の日イベント「こどもゆめ横丁（子ども商店街）」
11月17日	登戸研究所に行こう
11月20日	李政美さんのお話とコンサート
12月1日	上野の美術館・博物館に行こう！
12月6日	北村年子さんと“境界線を学ぼう”
12月13日	遠藤さんとクリスマスリースをつくろう
12月14日	大そうじ
12月15日	えんクリスマスパーティー
12月23日	夢パーク クリスマスイベント
1月12日	長谷川俊雄さんといのちを考えよう①
1月14日	初夢！新春イベント～もちつき・どんと焼き・書初め・昔遊び～
3月6日	川崎市平和館に行こう！
3月14日	長谷川俊雄さんといのちを考えよう②
3月15日	大そうじ
3月16日	春だ！春だ！パーティー（巣立ちの会）

その他の企画

企画	実施回数
おはよう、スタディ！（学習支援）	週2回
きれいにし隊（近隣清掃）	週1回
バースデーパーティー	月1回
畑づくりプロジェクト	通年
吉田さんのお茶と着付けをしてみよう	隔月
おやつづくり	随時
藍染め	随時
ものづくり（木工、手芸など）	随時
東日本大震災のことをみんなで考えよう	毎月11日（平日のみ）

【別表2】

<ブリュッケ>

① 定期開催講座

講座名	内 容
パソコン講座	「word」「excel」のスキル習得講座（講師：長谷川政夫氏）
女子会	女性の悩みや不安を語り合うワーク
サイコロトーク	「自分について語るワーク」（サイコロの出た目に書かれている題材をそれぞれが語り、みんなで聴き合う）
みんなの音楽	言葉以外で「自分の好きなことを表現するワーク」（好きな音楽をユーチューブで選び、プロジェクターで映し出してみんなで観賞し、感想を語り合う）
映画鑑賞	言葉以外で「自分の好きなことを表現するワーク」（お勧めの映画を選び、みんなで観賞し、感想を語り合う。8月は一週間かけて映画祭を開催） （8月は夏の映画祭を一週間かけて実施）
当事者研究	『「自分のこと」、「他者のこと」を考え、語り合うワーク』
誕生日会	誕生月の若者が「食いたいケーキ」を選び、みんなで作ってお祝いをする会
ヨガ講座	講師：加藤晴美氏、彰彦氏

② 単発講座

実施時期	企 画
4月	・カラーセラピー講座（講師：山本まゆみ氏） ・和布で「ポケットティッシュ作り」
5月	・プラバンで「キーホルダー作り」 ・椅子作り・木工講座（講師：福峯衆宝氏）
6月	・椅子作り・木工講座（講師：福峯衆宝氏）
7月	・卓球大会（中原の卓球場） ・空き缶を使った「綿あめ作り」
9月	・「十五夜団子づくり」 ・石鹸アート・カービング（講師：中川裕子氏）
10月	・パステルアート（絵画） ・かぼちゃカービング（ハロウィン用飾り物作り・講師：中川裕子氏） ・ハロウィンパーティー
11月	・どんぐりアート（クリスマスパーティー用飾り物作り）
12月	・松ぼっくりアート（クリスマスパーティー用飾り物作り） ・クリスマスパーティー ・「ブリュッケ」大掃除
1月	・書初め ・餅つきイベント
2月	・節分イベント（豆まき） ・バレンタインデーイベント（フォンダンショコラづくり）
3月	・プラバンでキーホルダーづくり ・ホワイトデーイベント（サツマイモデザート）

③ 就労に関するワーク（職場体験・見学等）

実施時期	企 画
4月	・和菓子屋『花ごろも（幸区）』の大澤代表による「和菓子作り」実演・実習 （てくのかわさき調理室） ・『日経新聞社（久地）』の見学
5月	『中原郵便局（武蔵小杉）』の見学
6月	精密測定機器メーカー『ミットヨ（溝口）』の見学
7月	シュウマイメーカー『崎陽軒（新横浜）』の見学
8月	LED栽培機器メーカー『キーストーンテクノロジー（日本大通り）』の見学
9月	一般社団法人『コンピューターエンターテインメント協会：CESA（新宿）』の見学
10月	『株式会社DeNA（渋谷）』の職員による講座「IT企業の話とインターネットの危険」 （ブリュッケ開催）
11月	『コロプラ（恵比寿）』の職場見学
12月	『うどんカフェうせい（久里浜）』前田さん親子によるうどん打ち体験（ブリュッケ開
2月	川崎マイスター認定・デザイン彫金加工場『ジュエリークボタ（川崎）』久保田さんによる指輪づくり体験（ブリュッケ開催）
3月	川崎マイスター認定・金属ヘラ絞り工場『相和しぼり（高津）』の職場体験・見学

④ 若者企画イベント

実施時期	企 画
4月	・お花見企画（砧公園） ・『ルミネTHEよしもと』に漫才観賞（新宿）
5月	・ボウリング大会（鷺沼） ・スポーツ大会（等々力サブアリーナ：卓球・バドミントン、バスケ、バレーボール等）
6月	カラオケ大会（溝口）
7月	「アートアクアリウム展」観賞（日本橋）
9月	・「バッティングセンター」企画（久地） ・「深海展」観賞（上野：国立科学博物館）
11月	『マッスルモンスター（相模湖プレジャーフォレスト内）』体験
1月	ボーリング大会（溝口）
2月	『スポッチャ（川崎）』でスポーツ大会
3月	『生田緑地（向ヶ丘遊園）』でお花見イベント